

# 所長の模型部屋

## はじめに……

こんにちは。当事務所長の齊藤といいます。出身は上越市で、高校卒業後入隊し、機甲科隊員(戦車乗員)として北海道第7師団の全戦車部隊で22年勤務し、平成21年に群馬県の12旅団司令部勤務を経て平成23年4月より生まれ故郷に戻ってきました。機甲科隊員になったのは小学校のころから戦車のプラモデルが大好きだったからで、自衛隊に入ったら絶対戦車に乗るんだと決めていました。希望がかなって入隊以来、趣味と実益を兼ねることとなりました。

勤務している間、私が乗ってきた自衛隊車両を模型にしましたので、当HPで逐次紹介させていただきたいと思います。自己満足の世界をどうぞご覧ください。

**で、その1両目は…90式戦車でーす！**





キットはタミヤで、ドーザーとエッチングは「オードナンスモデル」を使用しています。私の技量もないものですから、車体との隙間を埋めるのがなかなか難しかったです。デテールがすばらしく、よく取材されて原型を作られていたんだなーと感じます。



操縦主用ハッチ潜望鏡は、中央だけ横に長いので改造しています。戦車乗員モデラーとしてはこだわりました。マーキングは第73戦車連隊ですが、私が勤務していた頃は、74式から換装していたこともあり、新しい部隊マークを検討していたので付けてません。



サスペンションは可動としました。工作方法はよく模型雑誌で紹介されているのでそちらを参考にしてください。第2から第5転輪までを可動としています。ペンや消しゴムの上に置いては遊んでいます。



車長と砲手は特に改造していません。キットでは、装甲帽に迷彩カバーが付けられた状態でキット化されていますが、これは、タミヤが取材した際に私の同期の装甲帽を使用したのですが、特別に業者さんが参考で作った迷彩覆いを付けていたからです。官給品では支給されていません。



後方から見た90です。排気煙は排気グリルを円形に黒く汚します。全体的に汚れの表現は控えめにしています。実車のおりにすると泥だらけでキチャナイ！と娘たちに言われてしまいますので…

塗装は自分の見ていた印象からダークグリーンとフラットアースにオリーブドラブを混ぜたものを使用しました。ちょっと暗くなってしまいましたね…撮影に使用した光源も弱いこととデジカメも近接撮影性能が悪く、ぼやけた写真ばかりですみませんでした。次はちゃんと撮影します。



**次回は、懐かしい161式戦車です。**

**どうか見てやってください。**